

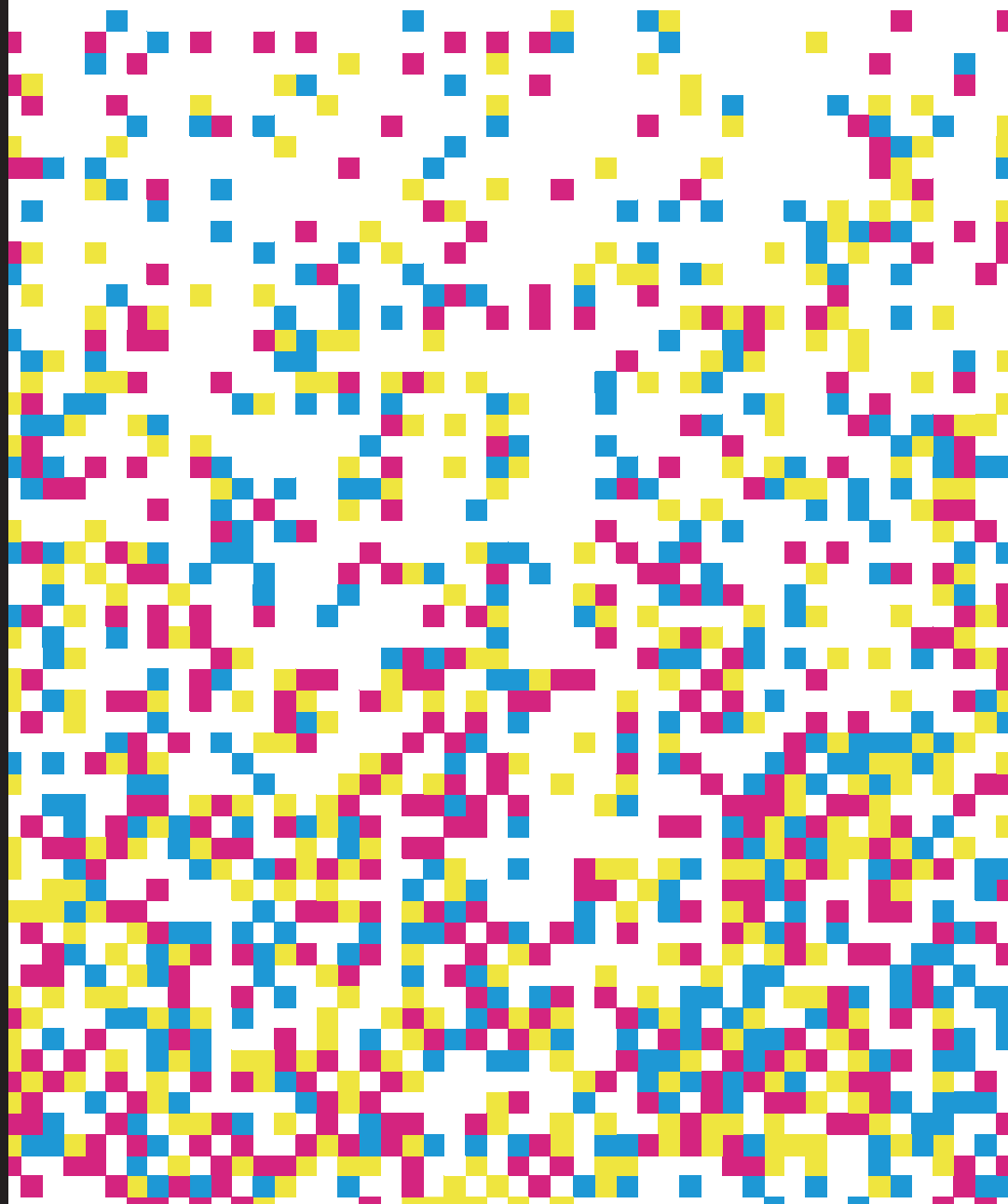
茨城大学学生広報誌

comail

2016 年度

秋 / 冬

No.216



酔草 を変えて見てみよう

「こんなの学んでも役に立たない」

「教育学部にいるなら先生になるんでしょ」

「とりあえず就職しなきゃ」

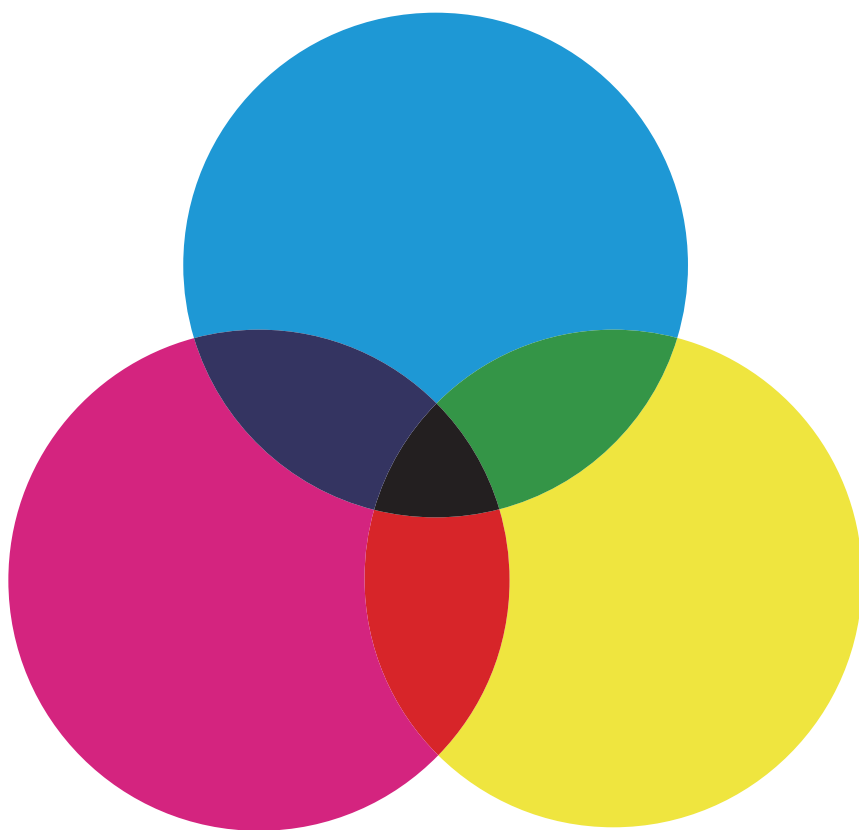
今号の C-mail は、キャンパスにあふれる学生の固定観念に注目しました。

先入観に捉われて、自ら視野を狭めていてはもったいない。

分からない世界にこそ、学生生活を有意義にするヒントが隠されているのかもしれない。

学問・学生・組織

身近な茨城大学を、もっと色んな視点から。



心

心理学ってどんな学問？

をさまざまな視点から。

今回の企画は、「視点を変えて見てみよう」。

まずは「心」を異なる角度から見ている学問である心理学について触れていこうと思います。

心理学に興味がある人、いま心理学を勉強している人、いますよね。
ひとことに心理学といっても、実はいろいろあるんです。

心理学を研究されている人文学部の3人の先生にそれぞれの分野の特徴や他との違い、そして自身の研究内容についてお話を伺いました。

臨床心理学



のぐち やすひこ
野口 康彦先生

なんらかの心の問題や葛藤を持つ人に対して知識や技法を用いて援助する実践的なもの。

僕の研究の中心は離婚と子どもです。子どもの貧困化とも深く直結している問題なので、今一番関心があるのは、やはり離婚を経験した子どもの権利なんですね。具体的に言うと養育費と面会交流です。日本だと子どもの権利というものは保障されないシステムになっています。離婚するのは親の自由なんですけど、やっぱり子どもが一番被害にあい、深刻な状況に置かれているという問題があります。それらも含めて、僕は離婚を経験した子どもたちの育ちについて心理学の側から研究しています。臨床心理学は人を対象にした研究なんです。だから親の離婚を経験した人に当時の体験、苦しかったことや困ったこと、または助かったことを聞いていきます。そこから、どのように心理発達をしていくのかを明らかにし、どういう支援があれば子供たちがよりよく生きていけるのかを考えています。

発達心理学



まつもと こうたろう
松本 光太郎先生

環境のなかで育まれてきた人の心の成り立ちを、時間や比較という観点から検討している。

最近ではロボットを使って人間の心の成り立ちを研究しています。例えば、人は目を合わせ続けていると離したくなるんですね。それは、目を合わせるということが一方的に見ることじゃなくて、相手が見ているということを認識しながら見ることから、視線を受け止めなきゃいけないから、目を離したくなるんです。ロボットには一応目がついてるので、目がないペットボトルより見続けることはできないと思うんですよ。でも、ヒトからみられるのとはまた大分違うと思うんですよ。

僕らの心の成り立ちを考えると、通常は対人関係がベースです。でも人間だけを見ていてもなかなか特徴ってわからないので、対人関係を理解する時に、他と少し比較をしてみるんですよ。例えば、チンパンジーの行動と人間の母子関係を比較したり、あるいはロボットと人というのがどう違うのかを比較したりする中で、心の成り立ちを理解するってことをやっています。

感情心理学



みやざき あきお
宮崎 章夫先生

感情やストレスなど、非常にモヤモヤとしていて捉えどころのないものを科学的に解明する。

大きくわけて2つの研究をしています。一つは、ストレスの研究です。介護士さんを研究対象として、介護の現場でどのようにしてストレスが生まれるのか、その心の動きや社会の仕組みを研究しています。また、それらの研究成果を現場に届け、介護士さんが自分のストレスと少しでもうまく向き合えるように知識とか技術を教育を通して伝えるという活動をしています。もう一つは、筆記の研究です。自分が日ごろ経験した些細な達成や喜びを記録していくことで、本人の感情状態とかストレス状態とかにどういった影響を与えるのかをゼミ生たちと研究しています。例えば、就職活動中は、自分では頑張っているけど何をやってもうまいかないように感じてしまいます。でも、後から考えてみると学んだことや達成したことが色々あるんですね。そういったことを日ごろから書いていくことで、どのようにして就活に対する態度が変わっていくか、自分に対しての考えが変わっていくのかを研究しています。

教養科目 学んで何になる？

教養科目の選択で一度は話題になる「ボディワーク」「ビートルズ」「妖怪学」。

一見「学んで何になる？」なこの3つ、先生たちはなぜ学問の基礎「教養科目」として設定したの
だろう？

ボディワーク

きむら もとこ

木村元子先生

「競争すること」だけが
運動ではないんです

●「ボディワーク」の内容とねらいを教えてください。

この授業を選択するのは体育に苦手意識があり、かつ運動習慣のない学生がほとんどです。そんな学生が自分のからだに関心を持ち、丁寧に自身のからだに向き合い、かつ友達と楽しく運動するという経験を通して、心とからだのしなやかな調和を目指すのが目的です。

授業では簡単なストレッチやヨガ、運動遊びを紹介、実践しています。体育というとバスケットかの競技スポーツを想像しますよね。そういった「勝つために競争するスポーツ」が苦手、運動が嫌になってしまう学生がいる。そうではなく「体を動かすことの楽しさ」を純粋に感じ取ってもらえる内容構成になっています。

●「寝てても取れる」と有名ですが、まづいいですよね？

全然まづくないです。「質の良い深い眠り」は健康のためにととても大切です。ストレスにさらされ続けると体はこわばり、呼吸も浅くなり、眠りも浅くなります。授業では、ストレッチをしてヨガマットに横になり、呼吸法をしながら体を重力にまかせていきます。その時に心身の深いリラクゼーションを経験してくれたら、授業としては成功です。「体が軽くなった」と言ってくれる学生もいます。

●なにか簡単にできるストレッチを教えてください。

背中まわりの柔軟性がつくストレッチを紹介しましょう。

①手首を外ひねりにし、肘を曲げてまっすぐ後ろに引いて胸を張り、息を大きく吸います（顔は上向き）。②次に手首を内ひねりにして腕を伸ばして体の前でクロスし、背中を広げて胸をすぼめるようにして息を長く吐きます（顔は下向き）。これを5回繰り返します。猫背になりがちな人も姿勢を正しやすくなり、かつ呼吸も深くできるようになりますよ。体がこわばってしまうと心もこわばってしまう。普段から体を伸びやかにしなやかにひらくことができていると、心も伸び伸びとして活力がわいて色んなことが楽しめるようになるのではないのでしょうか。「ボディワーク」がその手助けになればいいと思っています。



日中比較妖怪学

ますこ かずお
増子和男先生



「ジャンルや分野にこだわって
いると見えてこないものがある。」

●妖怪学って、なんなんですか？

名前はエグイんですけど、分かりやすく言うところ妖怪って言うより不思議な話。中国由来の不思議な話を選んで、それが日本にやってきてどういう影響を与えたのかということやそれがどういう風に受け継がれたり、変わっていったりしたかを色々な角度から考察していく。そういった内容です。決して妖怪の着ぐるみを着て飛び跳ねたりするわけではないですよ、題名から誤解を受けがちですけどね。

●色々な角度から考察していくとは？

分野だとかジャンルにこだわっていると見えてこないものがいっぱいある。妖怪という事柄を民俗学や文学、歴史学、社会学などの様々な分野で考察していきます。これを学際的な研究ともいいます。

●授業で学生に伝えたいことは何ですか？

私たちが大学に入って専攻していることは、ひとつの重要な足場になります。それはもちろん一番根本的なことで大事だけど、教養科目には全ての学部の学生が来ているので、自分の専門だけに限らず色々な考え方ができるんだということを知ってもらいたい。

●通称「ビートルズ」の講義について教えてください。

1960年代に活躍したビートルズを通して当時の若者が中心となったカウンターカルチャーや戦争、人種問題など多面的な話題に焦点を当てて歴史や政治、文化について考えます。またビートルズの曲も毎回、みんなで歌います。

●なぜ「ビートルズ」なのですか？

ビートルズの曲は表面的に聞き流してしまいがちですが、社会的・政治的背景を多く含んでいたり、特に人種問題に対しては強いメッセージを残していたりもするんですね。題材として広がりがあるんですよ。また僕自身もビートルズが好きであることや、ポールの来日や米国や日本公演50周年も選んだ理由です。

●この授業で伝えたいことは何ですか？

ビートルズだけでなく、授業自体を専門分野への足がかりにしてほしいんです。一つの題材から多面的にアプローチをして自分が興味関心のあることは何なのか明確にしていく。それが教養科目なのであり、このような授業のあるべき姿だと思います。

「他分野への興味の手助けに」

きみづか じゅんいち

君塚淳一先生

ビートルズと1960年代アメリカ



社会の実利に貢献しづらい学部が次々と消される今、「一見して何の役に立っているのか分からない」学問を探究する先生の話聞いた。

●考古学が担う特徴や役割とはなんでしょうか。

小学生が道端に落ちているものを拾って「これは何だろう」と言いますよね。そんな人々の素朴な興味に応える学問として一番近いのが考古学です。大人になると忘れかけてくる「素朴な興味」を大学生になってもう一度見直すと、ある種の人間の原点が見えてくる。そのような特徴があります。歴史というものが常に書き換えられていることは自明ですが、科学的な根拠が無ければいけないですよね。その際に、歴史学の中で最も科学に近いのが考古学ということになります。

●地域に根ざした学問でもありますよね。

そうですね。研究対象は昔からその土地にあって現在に残されてきたものです。素朴な疑問の解明がその土地の理解につながり、研究結果がその土地に住み続けても良いという安心感を生みます。地元に誇りが持てるようになっていく学問でもありますよね。考古学の成果は、意識していないようでもみんなが享受しているんですよ。単に研究対象が地域に根ざしているだけではなく、学芸員を通し

考古学

人文学部
たなか ゆたか
田中裕先生



て地域の博物館から住民の方々に、研究結果をお返ししている例もたくさんありますね。

●考古学の研究者ならではの視点というものはありますか。

まずひとつは、「日本人」をベースに考えてはいけない、ということですかね。考古学は現在過去日本人外国人問わず、すべてが研究対象です。なので、ものを見るときに日本人だけの見方をして真理が分かるのか、といった感じで研究に臨んでいます。自分の今いる土地であっても、時代が異なるものを相手にするわけですから、常に異文化に接しているような感覚です。もうひとつは、日本の変化の流れは一般的に見れば繋がっているように見えるけど、実は非常に多岐に分かれているんです。同じように見えて、同じものなど一つもないんです。

●考古学研究の視点から、学生に伝えたいことはありますか。

現代の学生は情報に晒されすぎて、情報を得たときに簡単に満足してしまうくらいがある。与えられた情報だけで満足せず、自ら到達するものにこそ真理があるのではないのでしょうか。考古学における発掘の魅力は簡単に定説をひっくりかえしてしまうことだと私は思うのですが、それと似てますよね。変化がないと、楽しく暮らせないです。自力で開拓する「楽しい」を大切にほしいと常々思っています。納得のいくまで探究する心があれば、どこでも生きていけます。

●先生の研究が担う社会的な役割とは何ですか。

僕は文学研究のスタンダードには含まれないような娯楽的なものやエンタテインメント系列の読み物を専門的に研究していますが、文学や文化の歴史を厚みを持った形としてとらえるためには、そういうものと「名作」と言われているものとを、一緒に考えていかなければいけません。文学の中のテリトリー間に立って、相互をうまくつなげていけるような、そしてもっと大きな厚みのある形で文学や文化の歴史を作っていくための研究が自分の専門であると考えています。

●文学という学問が社会の役に立つのか、と言われることに対しどう思われますか。

文学を楽しんだ上で、面白かったと思うと何か心の中に残りますよね。その「何か」の中で、その後の人生において役に立つものは無意識のうちにも必ずある。おそらく人間というのは、自分が読んだ言葉や聞いた言葉、自分が見たいろいろなものを糧にしてその後の自分の言葉や思考を組み立てていると思うんです。だとしたら、文学は何の役にも立たないと言われるんですけど、実は必ずどこか本人の意識していないところでいろいろな役に立っているんだろうと僕は思っているんですよ。



文学

人文学部
たにぐち もとい
谷口基先生

●文学を研究をしているからこそ見えてきたというものはありますか。

最近の風潮で二つの相対立する両極端な価値基準を設定して世界を提示します。しかし、一元論でも二元論でもとらえられない多元的なものが文化である、とみなさなければなりません。どんなところで、どういう形で言葉と言葉、思想と思想がつながるかというのは想像の範囲を超えてあり得ること。だから可能性がないと思いつまず、あると疑って掘り下げていく必要がある、そう思うんですよね。テリトリーを越えて行くのが本当の文化や文学なんだ、そういうことに思い当たったのが、自分にとっての大きな収穫です。

●研究の醍醐味についてお聞かせください。

おそらく一生読むことがなかったであろう、へんてこりんな面白い話がこの世にあるということを知ることができるのではないかと思います。受講者の方にはそういう形で楽しい思い出を作っていたければと思っていますね。

●研究をして得た経験から生徒に対して伝えたいことはありますか。

すべてを疑え、ということ。自分の好きなものを中心に考えるのはいいけれど、興味の無いものには一切目を向けないという姿勢では疑うという観点は生まれません。たとえ自分が本当に好きで信じているテキストであっても、そこから自分が出て行くことで新しいものの見方や世界観、価値観などとの出会いが約束されると思います。

往々にして私たちは、理解できないこと、把握できないことは拒絶してしまう。
自分が普段知ろうとしないことにこそ、おもしろい視点が隠されているのかもしれない。

●微分って、高校で習ったものの、何の役に立っているか分からないのですが。

確かに、一見すると何の役にも立っていないのでは？というのわかります。ですが、何の役にも立っていないようでほとんどすべての物事の役に立っているんですよ。コンピュータ、AI、ゲーム、画像の解像度、ロケット、ソファ、気象予報…。数えたらきりがありません（笑）。微分が単体で重要な役割を担っているのではなく、物事を組み立てるのに欠かせない道具のひとつとして使われているイメージです。

製品などを作る際、製品を実際に製作するのは工学の役割です。でも、製品を組み立てる以前の理論・構想の役割は数学です。華やかな部分ばかりが目立ちがちですが、工学部の学生さんもまず数学から学んでしょ？やっぱり、欠かせないものですよ。

微分だけではなく、世の中のすべてのものに意味があるというか。「なんだこれ」と思うものにもちゃんと意味はあるのだと思います。

微分

理学部

ほりうち としお

堀内利郎先生



●研究の醍醐味はなんですか？

やっぱり、難しい問題が解けるようになったときですかね。あるとき、突然頭が冴えて難しい問題が解けるようになるんですよ。耳の中が光る感じ。とはいっても、現在世界中にある重要な問題の中で解明されているものって多分ほんの1%くらいなので、その意味でいうと数学自身もまだ基礎しかできていないんですよ。専門家もまだまだ足りていない。そんな現状を打破するのはオリジナリティや想像力のある皆さんです。どの分野でも、オリジナリティは基礎の次くらいに大切です。

●ぶっちゃけ、数学が苦手です。

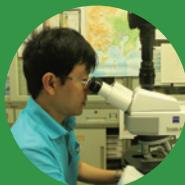
大学受験までの数学は答えを出すこと至上主義ですよ。考え方がおもしろくても、正解ではないと評価されないから仕方ない。でも、大学の数学は答えが無いことが多い。100を99+1と考えたり、一つの問題を様々な定理を使って考えたりする過程が重視されるんですよ。数学の本当の面白さに触れる前に数学が嫌になるような教育をされるのって、もったいないですよ。数学が苦手な人にも興味を持ってもらえるような研究といえば…、うーん、なんだろう。渋滞学なんてものもあるんですよ。数学に限らず高校や大学でつまみ食いしただけで嫌になってしまうの、もったいないと思いますよ。

●層位・古生物を研究することは何の役に立っていますか？

過去の地球環境を調べることで、未来を予測し、人類の進むべき道を決定することができます。地震や津波、地球温暖化など、過去に起こった情報を得ることで、今後いつどのような自然現象が起こるのかを予測することができます。そういう意味で社会の役に立っていると思います。

●考古学の研究と似ているような気がするのですが、少し文系っぽいですか？

いや、理系だよ。考古学と似ているけど、考古学は人間について、古生物学は主に人間以外の生物についてやっていますから。



層位・古生物

教育学部

かみくり しんいち

上栗伸一先生

●層位・古生物学ならではの視点とは何でしょうか。

他の人よりも時間の感覚が違う感じはしますかね。何千万年何億年ということをやっているのという視点を持っていますね。

●長い目で見ているということでしょうか。

そうですね。他の人は10年20年と見ていますが、数千万年数億年という単位で見ていますね。あとは、そのくらいの未来とか過去の地球の姿がわかるので、長く生きたような、得をした気分になりますね。

●「集合」は高校でも教わりましたが、実際何の役に立っているんですか？

数学では、すべて「集合」を基にして理論が組み立てられていきます。直接何かのために役に立っているというより、とにかくすべての数学の基礎となるのが集合なので、まずそれを最初に勉強しましょう、という感じです。

●数学的な考え方ってよく聞きますが実際どんなものなんですか？

仮定からどういう結論が得られるかを論理的に考えていくのが1つの特徴だと思います。なるべく少ない仮定から適応範囲が広く大きな結論を得られる定理ができればより価値があると思います。



集合

理学部

きむら まこと

木村真琴先生

●数学の研究上、これは自分しか持っていないと思うものはありますか？

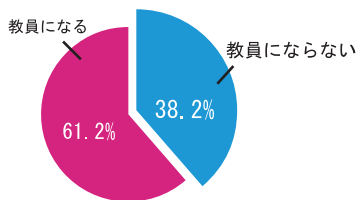
他の人が簡単には思いつかないような数学をやっていけたらと思っています。そして、自分にとって価値があると思える定理を証明できた時、分野の近い数学者が興味をもってくれたら嬉しいです。

●学部改変に関して、この学問が生き残るためのアピールポイントがありますか？

数学は理学や工学の全ての基礎なので、大事にしてほしいというのはありますね。発展的なことをする前にまず基礎を大事にしましょう。論理的な考え方は生きてく上で必要不可欠だと思いますね。

教員を目指さない教育学部

みんなが教員になるわけではない。



(平成 25 年度茨城大学進路状況「教育学部」より)

大学のある学部の中、教育学部という進路を選択すると、「先生になるの？」という質問を 1 度はされると思います。しかし茨城大学では、左のグラフの通り、教育学部の約 4 割が教員という職業には就いていないのです。

本企画では、教育学に所属しながら、教員でない職業を目指す学生に取材し、教育学部とはどのような場所なのか、実態を暴きます。

親しみやすいようで実は尊敬されてる人が理想

教育学部に所属しながら、放送系の職業に就こうとしている宮本さんにお話を伺いました。

情報文化課程 4 年
みやもと しゅうへい
宮本 修平さん

Q: なぜ放送系の職種を目指すのですか？

A: 高校時代から放送部に所属していて、続けたいなって思ったからです。当時は声優さんに憧れてたんですけど、放送部で制作もやるうちにそっちも面白くなって思うようになりました。

Q: なぜ教育学部に入ったのですか？

A: 教育学部っていうのは全然関係なくて、情報文化課程[※]のプロジェクト授業の内容に惹かれて入りました。

Q: 情報文化課程で何を学びましたか？

A: プロジェクト授業が一番の学びの場でした。僕は 2 年生から放送班のリーダーをしていたので、統率力も多少は身についたかな、と思います。プロジェクト授業において、チームで作品を制作するということを通して、人と信頼関係を築くことの大切さを知りました。意見交換するときに、信頼しあえてないと批判的なことって言いにくいじゃないですか。でも批判的なことも言ってあげないと、制作して

る本人たちが気づけないことってあると思うんです。僕はリーダーとしてみんなが意見交換して、何かを学び取れる場所を整えてあげたいと思っていたので、どんなことでも「言ってみよう」と思える親しみやすいリーダーであらうとしていました。

Q: あなたにとって教育者とは何ですか？

A: 親しみやすいようで実は尊敬されてる人が理想だと思っています。少なくとも僕の印象に残っている「教育者」と呼ばれる人たちはそういう人たちでした。

注釈

※プロジェクト授業…情報文化課程の 1 年～3 年の選択必修専門科目で、学年とコースをまたぎ、学生が自主的に学ぶことを目的とした授業。

自分から**憧**かないと何も得られない



教育学部に所属しながら、**漫画家**を目指しているという栗尾さん（ペンネーム）にお話を伺いました。

Q: なぜ**教育学部**に入ったのですか？

A: 教育学部ということよりは、**色々な芸術に触れたい**と考えて美術選修に入りました。

Q: なぜ漫画家という職業を目指すのですか？

A: 中学生のときに転校していく友達にイラストを描いてあげたら好評で、そこから**絵が活かせるメディア**を考えた結果、漫画に行き着きました。それと**最近漫画が好きだ**ということに気づいたからです。

美術選修 2年
あわお ともあき
栗尾 友玲さん
(ペンネーム)

Q: 美術選修で何を学びましたか？

A: 自分から動かないと何も得られないということですかね。同じ学科の友人たちが雑貨屋さんを借りて即売会とかするようになったんですけど、そういう行動を起こすことで**自分の糧になる**ことって沢山あるなって思いました。ただ安直に教員を目指すのは面白くないですし（笑）。

Q: あなたにとって**教育者**とは何ですか？

A: 「もしも美術が無かったら、世の中って**グレーの世界**だよ」 とある教授に言われたのですが、それを教えられるのが、僕の理想の教育者です。

ゼロ免課程とは・・・？

国立大学の改革によって、教育学部に設置された新課程のことで、茨城大学では「**情報文化課程**」、「**人間環境教育課程**」がそれにあたります。教育学部でありながら、教員免許を取得しなくても卒業できる、一風変わった課程です。

そんなゼロ免課程が、全国的に廃止されつつあります。茨城大学も、今年度の入学者を持ってゼロ免課程の新規募集を停止します。

ゼロ免課程廃止について**学長**にお伺いしてきました。

Q: なぜゼロ免課程がなくなるのですか？

A: **教育学部の学生が教員になってほしい**という社会のニーズに応えるためです。

Q: 廃止することに対してどうお考えですか？

A: ユニークな教育をしているのは知っていますし無くすのは惜しいことだと思います。しかし、廃止することで**教員養成に力を注げる**というメリットもあります。社会の要望に応えるためには致し方ないことです。

学生の声は・・・

学問を幅広く学ぶためにはゼロ免課程も必要だと思う。（情報文化課程 /3年）

高校生が大学を選ぶときの**選択肢が狭ま**ってしまいそう。（情報文化課程 /4年）

後輩がいないのは寂しい。（人間環境教育課程 /2年）

教育学部の学生が必ずしも教員を目指しているというわけではないのです。教育学部とは、「**教員になる**」ための学部、ではなく、「**教育者になる**」ための学部なのではないでしょうか。

学務部ってどんなところ？

あなたは普段利用している場所のことを知っていますか？

今回は、事前アンケートを基にみなさんが一度は利用したことがある学務部の職員さんにお話を伺いました。

学務部には多様な部門があり、みなさんの学生生活を各方面からサポートしているんです。

みなさんは自分が多くの人に助けられていることを意識したことがありますか？

学務課

主に授業に関する支援を行っている。

履修相談、RENANDI・Live Campusの運用、休講補講の連絡、授業アンケート、証明書発行、落し物の管理など。

工・農学部は、水戸キャンパスには学部の学務係がないので、こちらを利用することが多い。

ならはし としお
奈良橋 敏郎さん

学生生活課

学生生活にかかわることの支援をしている。

授業料免除、徴収猶予、奨学金などの経済支援、学生の保険、課外活動や寮に関することなど。

保健管理センター、就職支援センターの事務も担当している。

はしもと りょうすけ
橋本 良介さん

編 今まで対処に困られた問い合わせはありますか？

橋 対処に困ってニュアンスじゃないんだけど、奨学金の受付をしていると学生さんの中に奨学金のことをよく理解していない方がいますね。貸与型の奨学金を“もらえる”と思って、いや違うんだよ、“借りる”んだよって話をします。奨学金の内容とその重みを理解してほしいですね。また、保護者の方から、大学の書類を子どもが持っていないといった連絡があります。高校では担任の先生が学校生活に関する情報を提供してくれるんだけど、大学ってそういうところじゃない。基本的には自分で考えて自分の責任で動かなきゃいけない。

奈 同じく、対処に困ってわけではないんですけど、履修相談をしているとどの授業を取ればいいですかって聞いてくる学生さんがいます。教養科目は幅広く授業を立てているんですが、興味がある分野はないかなって聞くと「特にないですね」という反応を

するときがあるんです。大学ってやっぱり主体的な学びの場だと思うし、自分が学びたいことは自分で考えておいてもらえるとありがたいですね。

編 学生に伝えたいことってありますか？

橋 高校生のときとは違う基準、1つ上の意識レベルを持つように求められていることを認識してほしいです。経済的な面だとか、大学での生活を通して大学生という身分が社会的に何を求められているのか自覚したうえで行動してほしいですね。



奈 レポートの提出期限を過ぎてるけど提出したいって学生さんがいるんですが、それってなかなか窓口では難しいんですね。社会っていうのはルールで成り立っているんで、それが本人のためになるかというところ少し疑問に思うんです。基本的には学生さんのことを考えて、先生に提出期限は過ぎていますが受け付けしますかと個別に担当の教員と話してるんですが、締め切りは守ってほしい。社会人になってから、期日に間に合いませんでしたというのは通用しません。その辺は社会勉強の1つとして考えてもらいたいと思っています。

編 お二人の仕事のやりがいについてお聞かせください。

橋 学生さんに「ありがとう」と言ってもらえることです。やっぱり学生さんの役に立つ仕事ができるときがうれしいと思います。あとは、茨大の学生さんが地域の方とか学外の方から認められたときっていうのは職員としてうれしいです。そういうことは僕だけに限らず職員全体にあると思います。

奈 学務部の本質って結局学生さんのための組織なんです。だから学生さんのためになってるって感じられるときにやりがいを感じます。なので、学生さんには積極的に活用してほしいと思います。職員も学生さんの役に立ってるなって思えるときが一番やりがいを感じるときなので、我々としてもできる限りの支援をしていきたいです。

編 今回、学務への要望としてアンケートをとらせていただきました。一番多かったのが「入りづらい」、「声をかけづらい」という声だったんですが…。

両 あー。

橋 学生さんが来たら声をかけるようにはしてるんですけどね。うーん、お店みたいな対応は申し訳ないですけど難しいですね。学生さんのために講義の質を上げていくことやよりよい経済支援を考えることなど、本質的なサービス向上のために人員や労力を



割くようにしているので…。でもちょっと入りづらいっていうのはありますよね。なるべくウェルカムな感じは出したいとは思ってる所なんだよ(笑)。出してるよね？

奈 うん(笑)。

橋 怖くないので声をかけてください！事務的なことやって、ちょっと話しかけづらいなっていうことがあるかもしれないんだけど、とりあえず声をかけてほしい。

編 初めての大学生活で苦勞する新入生へコメントやアドバイスがあればお願いします。

奈 大学に入ると情報は積極的に自分から取りに行かなきゃいけないです。だから掲示板等を見る習慣をつけてください。基本的にはそれを忘れなければ大学生活で困ることはないはず。私たちも掲示板を確認してもらうことで困らないように努めていますが、わからないことがあったら遠慮なく窓口へ来てください。

橋 あと vc メール見てほしい！授業の連絡で vc メールを使う先生もいらっしゃいますし、私たちも電話が繋がらないときはメールで連絡するのでよくちょく見ておいてください。掲示板、メール、窓口、この3つを覚えておいてもらえたら過ごしやすくなるんじゃないかと。

編 まずは掲示板ですね。

橋 そう。まずは掲示板の確認！その次にメール！それでも困ったときは、いつでもお待ちしていますので窓口へお越しください。

変換 the point of view

サークル

▼演劇、アウトドア、音楽、ボランティア、同じ分野なのにいくつかのサークルが点在する。▼外部からは同じように見える活動も、各サークル内部から見るとそれぞれ全く違う活動方針であったりする。
▼ここでは同じ分野にあるサークルをピックアップし、各サークルごとのその分野に対する捉え方、着眼点の違いを紹介する。

演劇研究会



人文学部 2年
つくいるね
津久井瑠音さん

演劇の着眼点は？

既成の台本を使用
舞台に力を入れる

演劇研究会は、演劇集団「風ノ街」とは異なり、小さな公演以外は基本的に有名な人が書いた**既成の台本**を使っています。所属人数も少なく、最近では少し増えてきて 35 人くらいですね。僕は、人数が少ないほうが良かったので演劇研究会を選択しました。同じ分野にあるサークルとして、演劇集団「風ノ街」さんに負けないところは**舞台の凝り方**ですかね。毎晩の



ように、舞台のセットに使う木を切っていることもあります。

演劇集団

「風ノ街」



教育学部 3年
いとうはるか
伊藤春日さん

オリジナルの台本使用
笑いに貪欲であること

演劇集団「風ノ街」は、**団員が書いた台本**を公演で使っています。私は、既成台本か、はじめから台本を作るかだったら、自分で台本を作りたいという気持ちがあったので風ノ街に入りました。人数は現段階で 68 人と演劇研究会さんより多いです。演劇集団「風ノ街」は、新歓祭で**コント**をやることもあり、根本的に笑いを考えていく集団だと思っています。なので、演劇研究会さんに負けないところは、**笑いに貪欲**なところだと思います。



月 1 回の活動のメインは山登りです。アウトドア活動としての目的は山を登ることではなく、**山登りの道中の景色を楽しむこと**です。トレッキング同好会は、野外活動愛好会さんのスポーツの部分の山登りに移したイメージ。だから、比較的**自然と関わる**ことが多いと思います。活動は山登りだけでなく、季節に合わせてキャンプやハイキング、スキーなども。また、基本的に活動が日帰りであるため、活動費がかさみません。日帰りで登れる山となると、それほど**厳しい山に登らない**ため、山登りしたいけど過酷なものは無理って人も気軽に参加できます。



活動は月 1 回、オリエンテーリングやキャンプ、BBQ やスキーなどのアウトドア活動を全般的に行っています。また、毎週水曜日に会計報告や次の行事の予告を行う定例部会があります。活動は 1 泊 2 日などで行うことが多いですね。トレッキング同好会さんと異なる点は、登山やキャンプだけでなく、体育館で行う**スポーツ**も活動に取り入れているところだと思います。また、登山は 1 週間かけて登るものが年に 1 回と、個人で企画して参加者を募って登るものが年に数回あるくらいです。1 週間かけての登山活動は、荷物も重く、過酷ではありますが、仲間同士の絆が強くなると思います。



日帰り活動 メインは山登り

トレッキング同好会



理学部 3 年
ほそえ かずき
細江一稀さん

アウトドアの着眼点は？

泊りがけの活動が多い アウトドアは全般的に

野外活動愛好会

理学部 2 年
わたなべしょうた
渡部将太さん



▼2 つの分野から 4 つのサークルを取り上げたが、それぞれ各分野において違う着眼点を持っていることが確認できた。▼外部からの視点を内部に移すことで、同じように見えていたものが違う見え方、考え方に変わるかもしれない。▼1 つの楽しみ方に固執せず、広い視野で物事を捉えることで世界が変わる。▼サークル内部者も自分が所属するサークルと同じ分野にあるサークルに目を向けて、違った見方からその分野を捉えてみてはいかがだろうか。

就職実績の「それ以外」



就職実績のグラフには一定数数字があるのに、

大々的には紹介されない「それ以外」。

よい会社に入る人たちがばかりが注目されがちな

学校のパンフレットとは対照的に、フリーラン

スで活動している卒業生に話を伺った。

うえむら

平成24年度人文学部人文コミュニケーション学科卒業。東京在住のイラストレーター。人がいままで押されたことのないツボを押すことを生きがいに、主にWebサイトやTumblr上でイラストなどを公開。
<http://uemulagirls.tumblr.com/>

自分にとっての「豊かさ」とは何だろう？

- ④ 人文学部からフリーランスのイラストレーターとして活動することになった経緯を教えてください。
- ⑤ とにかく就職をしなくて、3年の終わりに就活しない宣言をしたんです。「大学を出たからとりあえず就職」なんて言って、わけのわからないブラック企業に就職するのが一番嫌でした。好きなこと、変なことを自由によってお金をもらえることのほうが僕には魅力的だったので。
- ④ 自分が将来何をやりたいかってことより、とりあえず就職という考えの人の方が多いと思いますが。
- ⑤ とりあえず安心したいってことですね？
- ④ そうですね。
- ⑤ 確かに、安心安全が一番大切ですよね。フリーは安心安全じゃないし仕事も自分で取りに行かなきゃならないですけど、時間の余裕だけは誰よりもありますよ。時間の余裕は心の余裕ですから。なので収入や将来の不安は大きいんですけど、ある種の「安心感」は得ていますよ。やりたいことをやれる時間は十分あるので、それを糧に生きていける人はフリーで自由に生きるほうが楽だと思いますし、収入や将来の不安に耐え切れない人は就職したほうが安心です。何に幸せを感じるかっていうんですかね…。
- ④ ブラック企業に苦しむ人は、自分が本来感じている「豊かさ」の価値観が世間の価値観に侵されているような気がしますね。
- ⑤ そっちのほうが生きやすいことは間違いないし、そういう風に社会は出来上がっていますからね。でも、就職できないと安心できない人がつらい労働を強いられるのって、めちゃくちゃ悲劇ですよ。
- ④ うーん。つらいけど、簡単にはやめられないですね。次がなかなかないですもん。
- ⑤ そうですかね？「次がない」と言って仕事をやめられない人は、苦勞すると思いますよ。自分に対し



てネガティブな幻想を抱いているのかなとも思います。保険をかけすぎというか、もっと自分の可能性を信じてみてもいいんじゃないかなと。僕は最悪ホームレスになってもいいと思っていますし、職がない人たちと話すことも多いんですけど、そういう人たちのほうが人間的でおもしろい考えを持っていたりするんですよね。我慢することが美德だとは思いません。**余裕のある生活がしたいのか、お金がほしいのか**の優先順位があやふやな人は、ちょっと心配です。人間として本来は、生活することが優先順位の一番上にくるのにね、と僕は思います。

⑦ 編 うえむらさんの考える「社会人」とは何ですか。大学では「社会人入門」なんてのもありますが。

⑧ う 年をとれば世間的に「大人」になります。ウラを返せば、社会人講座という特別なことをしなくても、「大人」「社会人」にはなれると思います。この「大人」はいろんな責任がついてまわりますが、責任というのは、社会への責任のほかに、自分を「豊か」にする、自分に対する責任もあります。**社会人入門で社会への責任を学ぶ前に、まず来るのが自分に対する責任です**。そこを忘れて過労で倒れる人、いるのではないのでしょうか。

⑨ 編 「社畜」って感じですね。

⑩ う フリーランスで活動をする中、平日の昼間にぶらぶらできる今の生活が一番幸せだと気づきました。大学生の間はまだそれができる。**究極の豊かさは時間です**。

⑪ 編 最後に、茨大生にひとことお願いします。

⑫ う 自分が考える「豊かさ」とは何ですか？僕の考える豊かさは時間だと思っていますし、それが究極の豊かさだとも思うけど、ひとりひとりにそれぞれの思う豊かさがあるはず。それを決めるのが今有り余る時間を生かした「行動」ではないのでしょうか。周りの価値観に流されず、自分の考える本当の豊かさの意味を履き違えないでほしいです。

先生と教室と私。



学問における姿勢とは何か？

ここでは、普段とりわけ意識することのない授業風景を教室という物理的側面と先生と学生の心理的側面の二つの視点から捉え、茨大生の学問における姿勢の実態を提示し更なる向上のための意識づけや言及を行っていく。

～やる気が出ない原因はこれだ!!～

教室に潜む悪魔と欠落した学生意識

睡魔

とにかく眠い。何限であろうと眠い。前日の睡眠状況にもよると思うが、実は教室が睡眠を助長している場合も存在する。パワーポイント等のスライドで講義を行う教室は基本的に暗い。この状況は眠りに誘う舞台装置としての役割を担っている。また、机が傾いているタイプのものは突っ伏して寝てくれと言っているようなものである。いずれにしろ、学問からの逃げ道はいたる所に用意されている。それはたとえば私たちが教室に赴き、出席しているでもある。

異常室温

エアコンのガバガバ設定による無慈悲な暴力のこと。先生に悪気はないのだが、着実に私たちのやる気と体調にダメージを与えてくる。また、日当たりや階数などの地理的要因も教室の温度に影響している。特に夏季は温度差が著しいので服装にも気をつけたいところだが、学問と対峙するにあたって私たちはいったい何と戦っているのか、もはや編集員自身にもわからない。

スマホ

「この位置ならバレないんじゃないか」と一度は講義の最中に感じたことがあるのではないだろうか。席が後ろになればなるほど、スマホの使用率は上がっている気がする。しかし、なかにはレジュメをスマホで見る勉強熱心な学生もいる。ここでもバカと天才は紙一重であることが伺える。スマホをいじる大半の学生はLINEやゲームにうつつをぬかしているが、自分が課金する以前に親から大学進学という巨額の課金を受けていることを忘れていている者が多い。

雑談

大学入学前と後の授業スタイルを比べると大きく違うのは、自分で好きな授業を選ぶことができる点、座る席の場所も自由である点である。仲の良いグループが教室の一点に集まると私語が増えるのは自明の理だが、喫煙と同じで当事者よりも、話を聞かされている周囲のほうが被害が大きいのである。真面目に授業を受けたい学生は入室したらすぐに一番前の席に直行するのが得策である。

編集部で賛成多数！眠くなる教室。。。。



共通 3 6



- 空調がほどよく効いている
- 教室がほどよく暗い
(パワポで講義を行うため)
- 机とイスがほどよく硬い
- 西日がほどよく降り注ぐ

教壇からみた茨大生像。先生の本音に直撃してみた！



しぶや あつし
渋谷 敦司先生 現代社会論

開講時期：前期 月 4 教室：共通 3 6

「僕らは物理的な環境とか教室のせいにできない」

確かに寝ていたり、スマホをいじっている学生もいるけど僕はそんなに気にならないね。むしろ、授業をやる側としたら自分の講義は面白くないのになってことを反省すると思う。スマホは資料をPDFで見たり、わからない言葉を調べるのに役立つから僕の講義では特に咎めたりすることはないよ。それに、茨大生はやっぱりマジメだと感じる。僕は昔非常勤で私立大学にいたけど、そこと比べるときちんと出席もするし、前の席に多く学生が座ってくれると熱心に興味を持ってきていると思う。

逆に講義の中で**茨大生のマイナスなところを言うならば、ノートの取り方が苦手な点かな**。まだ中学や高校の「板書をひたすら書き写すこと」に慣れきっているのかもしれない。あと学生自身がいろいろな大学に対して提案するとかの組織的な仕組みがあって、図書館も綺麗になったり設備も茨大は充実していると思う。そういった環境で大学側も学生側も講義に対する期待が相当大きくなっているから、僕らとしても、学生が寝ているのを物理的な環境とか教室のせいにはできないよね。

あと、学生全般に言えることなんだけど、正解とか絶対的なことを講義の中に求めすぎている気がする。僕の講義でも正しい解答が示されないから、そういう学生にとってみれば、この講義何だったのって不満が残るだろうし。

でも、自分の学びたいことがあれば本を読んだり、メディアを活用して調べたりしてほしい。授業はあくまでそのきっかけにすぎないと思うからね。**最近の学生は講義の内容に100パーセント自己完結的な教科書的な知識内容を一回一回の授業に求めすぎているところがあると思う。大学生だったら正解を教えてもらうんじゃなくてね、そもそも問題が何なのかを発見する、入口の所への問題提起を求めるように聞いてほしいな**と思っているので、今でも僕はそういう風にやっている。ぜひ自分から有意義な学習、そして大学生活を送ってほしいと思う。

学び
×
茨大生

教室は学問の**入口**。先生は学生の**興味**を膨らまし、
私たちは自主的に学問を追求する。
それこそが**学びの道**。

Twitterでの「顔」の顔

茨大博士



@iba_dr

アイコン作者 きんぎょざかな☆なごみ様 @75min_kingyo

茨城大学や茨大生をよく取り上げて、面白いツイートをしているアカウント。名前のとおり博士のような「～ぢゃ。」という口調が特徴。

どうして「茨大博士」のアカウントを始めたのですか？

初代曰く、「茨大生に、茨城大学の色んなことを知ってもらうため」らしい。本当にそんな大それた目的があったのかどうかは怪しいもんぢゃ。

面白いRT等が多いですよ。自ら意識したツイートの趣旨等がありますか？

ちょうど三代目が活動を始めてから、Twitterでアンケート機能が始まったので、卒業論文や授業では聞けないような質問を投げかけておるぞい。

特にお気に入りのアンケートがあればお聞きしたいです。

お気に入りやはり、学部別恋人の有無アンケートと、どの学部と付き合っているかのアンケートぢゃな。

茨大生協水戸S



@Mito_SB

生協水戸購買部のアカウント。情報発信だけではなく、商品のおすすめや学生との雑談ツイートもしている。現在の中の人には店長の島田さんが担当している。

なぜ生協の人として個人のアカウントを持っているんですか？

特に上級生に言えることだと思うのですが、毎日研究室にいたりして変化のない毎日を送りがちですよ。そこに楽しい要素を生協がプラスしたいと考えていて、その一環でこのツイッターの活動をしています。

学生のために活動されているんですね。

学生だけではありませんが、ほんのちょっとしたことで茨大のみなさんに意識してもらって、「茨大に生協があってよかったな」と思っていたければと考えています。

最後に学生にひとことお願いします！

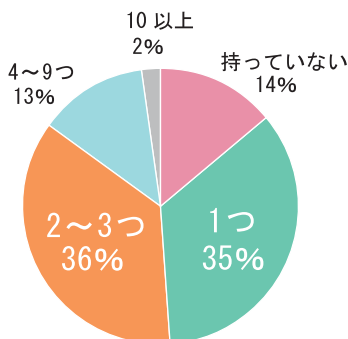
もっとフォローしてください！そして面白いと思うツイートはRT やいいねしてくれるとうれしいです！

気になる Twitter アカウントの中の人へのインタビュー

茨大生の Twitter 事情

普段とは違う一面が Twitter でも見れるかも

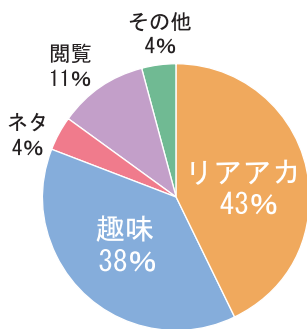
アカウントいくつ持ってますか？



複数持っている人と持っていないまたは1つだけと回答した人の割合が同じくらいの結果に。

複数持ってる人の中でも、10個以上持っているという人が2%もいました。驚きです。

どのように使い分けてますか？



日常生活用と趣味用を別々で持っている人が圧倒的に多いです。

また、「その他」の項目の中には、**愚痴やひとりごと専用、規制されたときのためにある予備アカウント**などの回答がありました。ストレス発散の方法が Twitter という人もいるようです。

アカウントを分ける理由は？



面白いつぶやきをただ見たいときと、知り合いとコミュニケーションするときは分けたほうが良いと思うから。



趣味をリア友に知られたくないから。



人によって聞きたいこと聞いてほしいことが違うから。



ひとりごとを書いてストレス解消のため。



フォロワーが多くなると TL を追えないから。



タレントに話しかけるため。



趣味の違いで周りに不快感を与えたくないから。



目的に合わせた情報を集めやすいから。

アカウントを分ける理由はさまざまでしたが、一番多いのは目的別に分けて人と交流するためという意見でした。また、趣味を知られたくないといったネガティブな理由だけではなく、趣味が違う人を不快にさせないためなど、友人に気を遣っているという理由でアカウントを分けている人もいました。

Twitterでは日常生活とは異なった交流を求め、普段周りが見ている顔とは別の顔を持っている人は多いです。また、使用するアカウントが違えば TL を見る意識も変わるでしょう。

Twitterによって、その人自身やそのアカウントに関して新しい発見ができるかもしれません！

クォーター制 来年から始まるけど 実際何なの？

来年度から茨城大学の制度が変わる。学生に大きな影響をもたらすであろうこの制度、よく分からない…という学生が大半だろう。制度が始まる前に、C-mail でも予習の企画を組んでみた。

● 制度が与える影響とクォーター制の知識 ●

現行のセメスター制に並行して、2 学期クォーター制が追加される。二つの制度を併用することになる。

現行（セメスター制）

前学期	後学期
-----	-----

2 学期クォーター制

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
前学期						後学期					
ガイダンス等	前学期授業期間		学外等における各種活動期間		後学期授業期間		学外等における各種活動期間				
	第 1 クォーター	第 2 クォーター	(夏季休業)		第 3 クォーター	第 4 クォーター	(春季休業)				

今までは一つの科目につき週一回、15 回の授業を一つの学期内で行っていた。クォーター制では、これまでと変わらず週一回の講義もあれば、週二回のものもある。

授業回数 / 週	授業期間 (試験を含む)	単位
1 回	16 週	2 単位
1 回	8 週	1 単位
2 回 (異なる曜日で実施)	8 週	2 単位
2 回 (2 コマ連続)	8 週	2 単位

※実験・実習の場合は異なります

制度の改変に伴い、始業時間や終業時間の変更もある。1 限の時間が早まることによる電車の都合が懸念されるが、終業時間が早まることにより帰宅時の安全が保証される。

1 講時	8:40 ~ 10:10
2 講時	10:20 ~ 11:50
昼休み	11:50 ~ 12:40
3 講時	12:40 ~ 14:10
4 講時	14:20 ~ 15:50
5 講時	16:00 ~ 17:30
6 講時	17:35 ~ 19:05
7 講時	19:10 ~ 20:40

クォーター制を導入、または導入を検討している大学も多数ある。大学全体ではなく特定の学科や学年で実施しているパターンもあるようだ。

一橋大学 東京工業大学 神戸大学 金沢大学
埼玉大学 会津大学 早稲田大学など
慶應義塾大学（理工学部 3 年）
東京理科大学（基礎工学部・基礎工学研究科）
甲南大学（フロンティアサイエンス学部）

▼ 期待される効果

- 集中的な学修と、能動的学修態度を引き出しやすくなることによる教育効果の向上
- 学期の細分化により、外に出て行動することが容易となる。
- 取れる科目数が現在よりも多くなる。自分の専門以外の分野も履修する余裕ができる。

実際、みんなどう思ってるんだ？

水戸キャンパスの1～4年生 380 人に聞いてみました
あなたはクォーター制に賛成ですか？反対ですか？

7月取材時

必要性を感じない

勉強は量より質

結局2期制と変わらなそう

短すぎて内容の薄い講義になりそう

心身ともに負担になる

夏休みが減る

今までの15回の授業を

半分の時間で終わらせるのは無理

情報が少ないから不安

やるが増える

めんどくさい

先にせっかく失敗している例があってくれているのに、

わざわざそれに追従するのは頭悪い

ややこしい

家が遠いから1限に間に合わなくなる

留学がしやすい

外に出て行動しやすい

茨大をこれから国際化する上で留学の促進は不可欠

授業を短い時間でやるほうが効率がよい

半年だと前週の内容を忘れてしまう

制度に賛成

15%

クォーター制が何なのかよく分からない

初めて知った

説明をくれた教員も理解が及んでいない

どっちでもいい

わからない
10%

農学部が実は試行しているみたいだから どんなもんか聞いてみた。

- 講義の間隔が短いので、前の内容を忘れずに講義を受けることができる。
- 定期試験の時期が分散するため、一時期にかかるテスト勉強の負担が小さくなるし、1教科に対する理解が深まる。
- 幅広い内容、多くの種類の講義が履修できる。
- 前半の講義で身につけた知識を後半の講義内容で活かせる。
- 短期間での講義なので、集中して知識を取得しやすい。
- 講義のテンポが遅くなくて良い。

メリット

農学部生 25 人に聞いてみました
あなたはクォーター制に賛成ですか？反対ですか？



デメリット

- 進度の関係上、テスト期間中にも授業が行われるのでテスト勉強が十分にできない。
- 復習する時間が短くなってしまい、授業によっては大きな負担になる。
- 編入生や再履修する生徒にとっては必修授業が重なる可能性が増えるため単位取得が不利になる。
- 時間が十分にとれないため、レポート提出などが忙しい。
- 内容が濃い場合、専門知識の習得が大変。
- テストまでの期間が少ない。

実際に「クォーター制」が一部の科目で試行されている農学部では、水戸キャンパスの結果とは異なり賛成派が60%と多数を占める結果に。しかし反対派も30%と少ないわけではありません。この制度導入に関して、メリットとしては集中的に講義を受講することができ、講義内容を今より深く理解できるようになるという意見が多かったです。その反面、課題、テスト勉強や復習などの自宅学習の時間を確保することが難しくなるという声もデメリットとして多くあげられました。

反対意見多いみたいですけど 学長、どうです？

茨城大学学長

みむら のぶお

三村信男先生

どういう思いでクォーター制の導入を決めたんですか？

今回クォーター制を導入するのは、単に新しい制度をとり入れたいからというわけではありません。私は学長になってから茨城大学の教育をもっといいものに変えたいと思っています。その改革の中で、「自らの力で未来を切り開くたくましい茨大生」を育てることが目標です。茨大生は素晴らしい素質を持っていると思いますが、私が学内で接する茨大生と世の中の人が見る茨大生にはギャップがあります。学内では明るくて、一緒に話して楽しいと思っているけど、外の人からは真面目だがおとなしすぎるとよく言われるんです。そこを変えていくために自ら学ぶ教育方法にしようと考えました。大学は教室で先生に教えてもらうところという枠を外して、社会で問題になっていることに自分からぶつかっていく。そこで、その問題はどのようなものなのか、どうしたら解決できるのかを皆で議論していく。その過程で自分自身を高めたり、積極性を引き出すような経験をしてほしいですね。そうした経験を得るためには、海外研修など講義以外の活動も重要になってきます。講義以外の活動にも積極的に参加しやすくなるように、今回のクォーター制の導入を決めたのです。

こういった思いがあって、まずは履修システムを変えていくことにしました。問題がない制度改革はないから、やってみて問題が出ればそれに応じて工夫して変えていきます。

反対意見が圧倒的に多いですが、どう思いますか？

クォーター制について何が変わるか、なぜやろうとしているのか、導入することによってどんなメリットがあるのか、これらが学生に伝わっていないと思うんです。中身が分からなければ今の制度をわざわざ変える必要がないと思うのは当然のこと。反対が多いのは、中身がどのようなものか伝わってなくて、なんで変えるの？と疑問を投げかけてくれているということだと思いますね。ですから、また秋に説明会などを開く予定です。講義の時間も変わるし、混乱がないように何度か説明する機会を設けなくてはいけないと思っています。

学生にひとことお願いします。

外に出ていっても自信を持って自らの考えを発言してほしい、言い換えれば、自己表現がさらにできるようになってほしいと思います。自己表現ができるようになるためには自信が必要です。自分はしっかり勉強して世の中でやるべきことを見つけたんだという自己肯定感を持って卒業してほしい。それに向かって、「教えるから自ら学ぶ」という方向に教育を変えていくので、学生の皆さんにも頑張ってもらいたいと思っています。

マイゼミ

●片口直樹准教授 教育学部美術選修 絵画ゼミ

●普段のゼミではどのようなことをしているのですか？

絵画ゼミなので絵を描くことが主ですね。でも展覧会を見に行ったり、スケッチをしに行ったりといった外に出ることが結構重要なんですよね。だから、ずっと教室で絵を描いているよりも、いろいろ出歩いてねってことを言ってます。

●外に出るとどのようなものが得られるのですか？

描く絵の題材を見つけるには、内にこもっているより外に出た方がいいし、例えば普段見過ごしているような些細なことに目が留まってそれに何かを感じることが表現の種になる場合もあります。

●絵画という分野は社会でどのように役に立っていると思いますか？

今の世の中いろんなことが数値化されていると思いませんか？それはとても重要なことなんだけど、逆に言えば締め付けでもあるわけですね。こうあるべきという型があって、でもそれに合わない人も出てくる。僕は、そういった人たちが救われるのが絵画とか芸術の世界なんじゃないかなと思うんです。だから、そういうところに意味があるんじゃないかと思います。

●このゼミで学んだことは社会でどのように役に立ちますか？

絵を描くことは、絵を介してコミュニケーションをとるということです。それができるようになれば、絵がなくてもその方法論は使える。そのコミュニケーション力は社会に出ても使えると思うんです。それから、美しいものを美しいと感じる目を培う術としてあるのが絵画の分野なのかなと思います。これは数値化されない力だと思うし、こういう時代に必要な能力だと思うんです。

●学生に求めていることは何ですか？

とにかく絵を描いてねっていうそれだけです。それを通して我々は会話しているので。周りを見ればもっとすごい絵描きはたくさんいて、そういう人たちと触れ合ってほしいし、描いていけばそういう人とも会話できる。そういう意味で、どんどん絵を描いていってほしいです。

●最後に、読者に伝えたいことをお願いします。

疑う目、見る目が大事だと思います。社会の不条理を見て見ぬふりをせず、本当にそれでいいのかって認識する目を持てば、それを解決することもできる。それができるのも「表現」で、直接的に言うとは人々は傷ついたりするけど、作品という形で間接的にいろんなメッセージを伝えることができる。それは人それぞれとらえ方が違って、強烈に伝わることもあればやんわりと伝わることもあって、本当に人それぞれなんです。芸術は答えがない世界だから曖昧だって言われても仕方ないですけど、その曖昧さが抜けたら社会なんて成り立たないんじゃないかと思います。

研究生の声



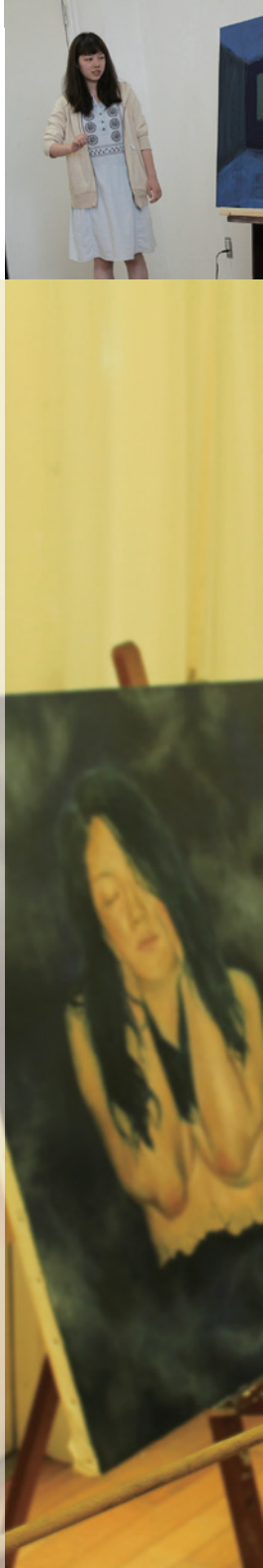
高校の時に片口先生に憧れ、ずっと目標にしていました。先輩たちに劣らない素晴らしい作品を描き、積極的に発表していきたいです。

(3年・横山大祐さん)



絵画ゼミでは他のゼミ生が近くで制作しているので作品について意見交換できるのが魅力です。

(3年・有田里紗子さん)





数値にとらわれない学問も
必要だと思うんです。
(片口)

My Favorite

今回は「自転車乗り」の茨大生2人について紹介します。なぜ趣味として自転車に乗るのか、そして自転車の魅力とは一体何なのか、異なる楽しみ方をしている2人にお話を伺いました。



農学部1年

たかすぎ としき
高杉 聡輝さん



使用年数：約3年
車種：Bianchi
値段：約7万円

クロスバイク
特徴：ストレートタイプのハンドル、ギア 前2段、後9段、
タイヤはロードバイクより太め。

「日々の相棒のような感じ」

Q. 機能性で気に入っているところは？

高校時代に通学で使っていたのですが、クロスバイクって普通はマウンテンバイクと同じギアなんですよ。でもこの自転車はロードバイクと同じギアを使っているの、走りの性能は高いのかなと思っています。

Q. クロスバイクを買ってよかったことは？

スピードが出るので楽しいですね。地元が青森なので農道を走っていたのですが、信号がなくて、しかも土手の上で車が来ないような道なので、ずーっとひたすら無心でこげますね。

Q. 通学路ではいつも共にいた、という感じですか？

そうですね。日々の相棒みたいな。高校までの往復の時間も毎日の楽しみのひとつでした。今は近くなってしまったので…来年…阿見通いも…まあアリですね（笑）。雨さえどうにかなればですけど…（笑）。

Q. 自転車への「愛」を語ってください！

普通の人からしたらどんな自転車であろうと交通手段のひとつですけど…「たかが自転車、されど自転車」ですからね。

今までずっとこの自転車に乗ってきたので思い切りこぎたいというか、風になりたい、みたいな感じです。

▼高校時代の通学路での景色



▲気に入っているというエンブレム



理学部 4 年

かさはら しょうた
笠原 祥太さん



使用年数：約 3 年半
車種：FELT Z6
値段：約 18~20 万円

ロードバイク
特徴：湾曲したハンドル（ドロップハンドル）、
ギア 18 ~ 22 段、細いタイヤ。

「北海道の自転車旅は毎日毎日がドラマでした」

Q. ロードバイクを買った理由は？

旅するのが好きで、**旅をするには速いほうがいい**からです。ママチャリでも旅をしたことがあるのですが、姿勢がつかったりスピードが遅かったりするので。

Q. この自転車で行った一番遠い場所とそのエピソードを教えてください。

北海道を 3 人で 3 週間かけて一周したことが強烈ですね。

2 日目に台風が直撃して 1 人が転んでしまったのでビジネスホテルに泊まったら、翌朝に避難勧告が出ていました。風が強かったので問題なくはなかったですけど時間がなかったので「**避難勧告出てるよ（笑）**。」みたいな感じで、走りでしたね。

14 日目くらいには自転車が悪くなってしまい、街まで 20km くらい離れていたのでヒッチハイクをしたのですが、10 分くらい経ったところで高知県から北海道一周に来た軽トラが丁度来たので乗せてもらったこともありでしたね（笑）。

Q. 次に行ってみたい（挑戦してみたい）場所はありますか？

春休みくらいに**四国一周**をしたいですね。あと北海道ももう一回行きたいですね。

Q. 今後もこの自転車に乗りたいと思いますか？

はい。**この自転車です**っと。1 万 km 以上走ってますしやっぱり愛着がありますね。

Q. 自転車への「愛」を語ってください！

やっぱり自転車の魅力っていうのは、バイクと違って自分というエネルギーだけ、**自分を削って目的地に達している**ことを感じられることだと思いますね。

自分をギリギリまで追い込めるのでロードバイクを買って良かったです。



▲走った距離がわかる
サイクルコンピューター

▼北海道 8 日目サロベツ原野



今日なに食べる？

いばだいめし

#2 安くて旨いのはどっち？

釜玉うどん

ほどよい濃さのつゆと歯ごたえのあるうどん。
とろとろの温泉卵もたまりません。

価格 ★★★★★☆

時間 ★★★★★★

味 ★★★★★☆

¥313

食堂 ver



価格 ★★★★★★

時間 ★★★★★☆

味 ★★★★★☆

自炊 ver ¥72

●食材

- ・卵 1 個 16 円
- ・白ねぎ 5 円
- ・あげ玉 5 円
- ・きざみのり 8 円
- ・うどん 1 玉 38 円

所要時間 10 分
1 人前 72 円

生協のメニューの中でもお手ごろに作れるのがこのうどん。今回は温泉卵も作っていましたが、ほどよい湯で加減を見極めるのは難しかったです。
つゆは市販のめんつゆを煮詰めて味を整えようと試みましたが、生協の味を完全に再現することは叶いませんでした。

簡単に見えて奥が深い生協うどん。
あなたも通いつめてその味の再現に挑戦してみてはいかがでしょうか。

茨大生の食に関するアレコレを紹介する「いばだいめし」。第2回目はなんと生協食堂のメニューを編集員が完全再現!! 食堂と自炊とではどちらが安くて美味しい食事がとれるのか検証してみました。

カレー

多くの学生が食べているのを目にするのがこのカレー。
ちょっぴり刺激的なスパイスが食欲を誘います。



価格 ★★★★★☆

時間 ★★★★★☆

味 ★★★★★☆

食堂 ver ¥259

価格 ★★★★★☆

時間 ★★☆☆☆☆

味 ★★★★★☆

自炊 ver



¥133

●食材

- ・牛肉 250g 375 円
- ・ルー半分 89 円
- ・にんじん 1 本 32 円
- ・たまねぎ 2 個 130 円
- ・じゃがいも 1 個 54 円
- ・ご飯 20 円

所要時間約 1 時間
1 人前 133 円

生協のカレーは数年毎に学生のニーズに合わせてスパイスを変えているそうです。多くの学生がおいしいと感じるカレーを作るために日々研究されているんですね。

自宅でカレーを作るとなると所要時間は1時間となり、やはり手間がかかります。

時間が取れない学生には生協でカレーを食べることをオススメできます。

一度に大量に出来上がるカレーは保存も1人暮らしの学生を困らせるのではないのでしょうか。

自炊も生協も一長一短ですね。

のぞいてみよう
身近なラウンジ

Life place



1. 理学部 K 棟入口にあるラウンジ。開放的な窓からの景色がゆったりとした気分にさせてくれる。2. 理学部 K 棟にあるラウンジ。人通りが少なく、周囲の音も気にならない。3. 人文学部 C 棟にあるラウンジ。天井が吹き抜けになっており、圧迫感を感じさせない造りになっている。

Mito



Ami



1. 農学部講義棟にあるラウンジ。大理石の重厚な造りが豪華。風通りも良かったため、夏場でも自然の風の中涼むことができる。2. 農学部実験研究棟 6 階にあるラウンジ。窓から一望出来る阿見の景色は一見の価値あり。窓から差し込む日差しが心地よい。



1



2



3

Hitachi

1. 工学部 S1 棟にあるラウンジ。厳かな雰囲気で作業が捗る。2. 工学部図書館にあるラウンジ。こちらのラウンジでは雑誌が可能なので、友人と談笑しながら作業をするのに最適。3. 工学部 E1 棟にあるラウンジ。多くの学生が勉強をするために集まっている。自販機なども設置されているため、長時間の作業にもぴったり。

FASHION SNAP



女子サッカー部
教育学部 3 年
おおとも さき
太友咲紀さん



男子バレー部
人文学部 1 年
さかもと けんた
坂本健太さん



女子バスケ部
教育学部 1 年
おかの あきほ
岡野暁穂さん



今回のファッションスナップは各部活のユニフォーム姿を掲載
普段の私服姿、ジャージ姿とはまた違った戦う姿に注目



硬式庭球部
教育学部1年
ふじまき ゆり
藤巻友里さん

理学部1年
はが のぞみ
芳賀望美さん



男子ラクロス部
工学部4年
むらもとたかのぶ
村本貴信さん

男子ソフトボール部
教育学部1年
たのこら ともや
田所知恭さん



事件

・

事故に

気を付けよう！

防犯

窃盗、侵入の被害に遭わないためにも、室内の施錠を徹底しよう！室内にいる時も鍵はかけよう。

女子学生は万が一のために、防犯ブザーを携帯しよう。防犯ブザーは学生生活課（日立・阿見は各学部学務係）で配布しているよ！



交通マナー

自動車も自転車も交通ルールを守るのは当たり前！
自転車の2人乗りなど、無謀な運転は事故を招きます。
悪質な運転は刑事罰の対象に！
歩行者も歩きスマホなど、危険な行為はやめよう！

飲酒

NO 未成年飲酒！ NO イッキ飲み！ NO 飲酒運転！
未成年の飲酒は法律で禁じられています。
イッキ飲みや飲酒の強要は死にも至る行為です。
適切・適度な飲酒を心がけよう！
飲酒運転は重大な事故を招きます。絶対に止めよう！



SNS



Twitter や Facebook など SNS への投稿は内容が適切か
考えてから投稿しよう。
内容によっては想像のつかないところまで拡散され、
様々な人から批判を受けることがあります。
投稿した本人だけでなく、友達・家族・大学にまで被害
が及ぶことも。

困ったときは…

学務部学生生活課まで！

茨城県警による女子学生向けの
防犯講習会も順次開催予定です！



編集後記 (14)



編集長

檜山加奈

(教育 / 情文 2 年)

単位落として原稿落とさず



副編集長

川又花奈

(教育 / 情文 2 年)

杏仁豆腐ちゃんを編集のお供に採用



森川周

(人文 / 社会 2 年)

C-mail 室居心地いよ。



渡邊剛

(教育 / 情文 2 年)

1日に1個はアイスを食べる夏でした。



表紙

八木隆太

(理 / 生物 4 年)

今年度も楽しくて充実した毎日を送りたい!



荒井優花

(教育 / 情文 1 年)

大学1年生の夏完全攻略しました☆



五十嵐妙音

(教育 / 情文 1 年)

※写真と実物には大きな差があります。



岩澤英樹

(人文 / 社会 1 年)

まだ未熟者ですが成長していきたいです。



遠田悠里

(教育 / 情文 1 年)

今日も明日も明後日も寿司



木口拓巳

(人文 / 口コミ 1 年)

編集期間中は枝豆を食える毎日でした。



小平貫太

(人文 / 口コミ 1 年)

怖い噂の教授、実は優しかったり



杉内裕介

(人文 / 口コミ 1 年)

友達欲しすぎうち



須永祐希

(教育 / 情文 1 年)

取材たくさんで楽しかったです~!



高澤真悠

(人文 / 社会 1 年)

改めて己の計画性のなさを痛感しました。



C-mail は、次号編集メンバーを募集しています。編集作業に興味のある方は、下記のアドレスよりご連絡ください。

▶ C-mail は、学生が編集を行う茨城大学の情報誌です。✉ c_mail_ibadai@yahoo.co.jp 🐦 @c_mail_ibadai

■教員編集員

人文：塚原伸治
教育：上栗伸一
理：木村真琴
工：海野昌喜
農：豊田淳

巻中、学年は取材時のものです

【配布場所】

各学部のラウンジ
茨苑会館の入口、生協、図書館
共通教育棟の学務課の横

Special Thanks

取材・アンケートにご協力いただいた皆様

